

## ベランダの手すりに関する実験（案）

### 第1 目的

子供が手すりを乗り越える行為に対する、手すりの形状による抑止効果を検証する。

### 第2 調査実施機関

国立研究開発法人産業技術総合研究所

### 第3 実験内容

手すりの上部及び足がかり部分の条件を変え、子供が自身の力で身体を持ち上げられるか計測する。

<実験条件>

(1) 子供の年齢（3年齢、各7人程度）

(案)	
2歳	7人
4歳	7人
6歳	7人

(2) 手すりの上部（太さ2種類、位置2種類）

(案)	
太さ (形状：円柱)	太い：径10cm
	細い：径6cm
位置	垂直（真上）位置
	垂直（真上）位置から手前に15cm

(3) 手すりの足がかり部分（高さ3種類、形状2種類）

(案)	
幅	25mm
高さ	高い：床面から650mm
	低い：床面から300mm
	なし
位置	水平
	傾斜（角度：45度）

